

新潟県立長岡高等学校長
鈴木 勇 二

改めまして、皆さん、おはようございます。

いよいよ令和5年度の始まりです。例年になく早い春の訪れで、既に市内の桜は満開です。山の麓は薄緑色に膨らみ始めました。信濃川周辺の柳も緑の新芽を出しています。いかにも新しい年度の始まりという感じになりました。今日から新しいクラスで、これまでとは違う仲間たちと1年間を過ごすこととなります。初めはぎこちなさもあるでしょうが、まずはクラスメイトと早く仲良くなって、お互いに高め合う有意義な高校生活を作り上げていきましょう。

では、今日は2点について話をします。

1 新型コロナウイルス感染症対策対策

はじめに新型コロナウイルス感染症対策です。今年に入って落ち着きを見せていることから、マスクの着用について対応が変わり、新学期以降は「基本として、マスクの着用を求めない」ことになりました。ただ、感染リスクがなくなったわけではありません。実際、先日も部活動の関連で生徒が3人感染するということがありました。感染症対策は今後も必要です。

今後は、「マスクの着用は求めないことを基本」としますが、通学時の電車やバスなど混雑した場所にいるときや、医療機関・高齢者施設等を訪問する場合などにはマスクの着用を推奨します。また、基本的な対策として「三つの蜜」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等の励行をお願いします。特に「換気」は重要です。暖かくなってきましたので、窓や欄間、入り口のドア開けるなどして教室の換気を徹底してください。これまでの、基本的な感染症対策はこれからも必要です。時と場所、状況にあわせてマスクを着用するかないかの判断をしてください。本日、これからの感染症対策に関する文書を配布しますのでよく読んでください。

2 配膳ロボット

2つめは、先日読んだニュースからです。ファミリーレストランの「ガスト」「バーミヤン」「ジョナサン」は知っていますよね。これらを運営する、外食大手のすかいらーくでは、各店舗に配膳ロボット（ネコ型ロボット）の導入を進めてきました。小さい子供は喜びそうですね。2021年11月ころから開始し、2022年12月には運営する3054店舗のうち2100店舗に計3000台の配膳ロボットを配置したとのこと。この新たな取り組みにより、お店の業績が上がると共に、職員の働き方改革にも繋がっているとのこと。ロボットというと工場で働くイメージでしたが、接客にもこういったロボットが活躍する時代になった訳です。

今回の導入も簡単なことではありませんでした。配膳ロボットが勝手に店内の道を覚えて動くわけではなく、それぞれの店内のテーブル等の配置や従業員が歩く導線に合わせて設定を変えていきます。一回で全てがうまくいくことはなく、何度も何度も試行錯誤を繰り返し、その店舗に合った最適な動きができるようにしていきます。私達は、ロボットがうまく動いている姿しか見ていませんが、1台導入するだけでも相当な手間と努力が必要です。これを1年間で2100店舗、3000台の配膳ロボットについて行ったわけですから驚きです。成功の裏には、地道な努力があることを改めて感じた記事でした。

学校において皆さんが行う勉強や部活動、課題研究も全く同じです。上手くいかないこともあります。が、「なぜ」そうなのか、どうしたらよいかを考えて、場合によっては周りの人にアドバイスをもらいながら、いろいろやってみましょう。試行錯誤の積み重ねが皆さんを成長させてくれるはず。頑張ってください。

以上で今日の話が終わります。

皆さん、元気に、そして有意義に、1年間を過ごしましょう。